

## 災害が起こる前に、ここをチェック！

### 家族一人一人の役割分担

平常時の役割と、災害発生時の役割を決めておきましょう。

高齢者、乳幼児などがある場合は、誰が支援するか決めておきましょう。



### 連絡方法や避難場所・経路

家族が離ればなれになったときの連絡方法や避難場所などを確認しておきましょう。また、避難経路の危険箇所について話し合っておきましょう。

### 非常持ち出し品

家族構成を考えながら、必要な持ち出し品がそろっているかを確認しておきましょう。また、定期的に新しいものに取り替えましょう。

- 貴重品（現金、預金通帳、保険証、印鑑など）
- 非常食（乾パン、缶詰など）
- 飲料水（持ち運び用にペットボトル入り）
- 携帯ラジオ、懐中電灯
- 救急医療品、常備薬
- タオル、下着、靴下など
- トイレットペーパー、ウエットティッシュ



大規模な災害時には、地域での助け合いが効果的です。市では、自主防災組織の結成や活動の促進を支援しています。

## 地域の防災活動にも積極的に参加しよう！

自主防災組織は、地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、災害被害の防止のための啓発活動や防災訓練（防災）や、被害を軽減（減災）するため、事前に決めた役割分担で自発的に防災活動を行う組織です。

※本市では、自主防災組織を「自主防災会」と呼んでいます。



### 災害発生時

情報収集伝達、水防、初期消火、救出救護、避難誘導、給食給水、避難所運営、二次災害防止のための巡視など

### 平常時

自主防災組織の役割分担、防災訓練や家庭での備えの呼び掛け、災害時の活動に必要な資機材の整備など

地域の防災力を高める

災害による被害を軽減する

災害時の活動の混乱や被害を未然に防ぐ

☎ 0869-22-3904  
危機管理課

※小雨決行。気象警報などの状況により、中止する場合は、当日の午前7時ごろに防災行政無線などでお知らせします。

▽日時 9月3日（日）午前9時～  
▽場所 牛窓北小学校  
期消火訓練、放水訓練などを行います。皆さん、積極的にご参加ください。

この訓練は、岡山県や関係機関と連携し、住民の避難訓練、人文字による救助要請訓練、初期消火訓練、放水訓練などを行います。皆さん、積極的にご参加ください。



避難訓練の様子

市では、M9.0クラスの南海トラフ地震が発生し、瀬戸内市で震度6弱を観測、液状化、土砂崩れ、家屋の倒壊や建物火災、ライフラインの途

総合防災訓練を実施します

# 家族防災会議の日

～防災について家庭で話し合おう～

☎ 0869-22-3904 危機管理課

1923（大正12）年9月1日に関東大震災が発生しました。この震災では、10万人以上の死者・行方不明者を出し、日本史上最大級の大災害となりました。この震災が発生した9月1日にちなみ、「政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風、高潮、津波、地震等の災害についての認識を深め、これに対処する心構えを準備する」として、1960（昭和35）年に「防災の日」が制定されました。また、1982（昭和57）年からは「防災の日」を含む1週間が「防災週間」として制定されました。本市でも、防災について家庭で話し合ってもらおうと、9月1日を「家族防災会議の日」と制定しました。現在、東日本大震災から6年が経過し、南海トラフ地震などの巨大地震がいつ発生してもおかしくありません。9月1日を含む1週間を各家庭において防災を考える日として、防災について家庭で話し合ってみましょう。

## 会議のポイント！

### 災害を知る

災害が発生したとき被害を出さないようにするには、お住まいの地域にどんな災害が発生する可能性があるかを知ることが大変重要です。

本市で発生し得る災害は、地震・津波、土石流やがけ崩れなどの土砂災害、河川氾濫による洪水、高潮による浸水害です。

市作成の災害（高潮以外）ごとのハザードマップで、お住まいの地域で起こり得る災害について確認しておきましょう。

ハザードマップは、市役所（危機管理課）、牛窓・長船支所、裳掛出張所で配布しています。また、市ホームページでも確認できます。



昭和51年9月台風17号による被害（長船町内、千田川流域の氾濫）

## 家族で災害時の行動を考える

東日本大震災では、自宅にいる家族とともに避難しようとして、地震発生後に勤務先や外出先からいったん自宅（津波の浸水域）に戻るといった行動が確認されています。



平成2年9月台風19号による被害（邑久町尾張・本庄地区）

災害発生時に家族が勤務先や外出先から命の危険を冒して災害の危険がある地域に戻らないように、災害時の行動や合流場所を家族で話し合っておきましょう。

避難する場所やタイミングは、お住まいの地域や家族構成、発生する災害の種類によってさまざまです。

避難する必要があるのか、避難するとしたらどこに避難するのか、いつ避難するのかを家族で話し合っておきましょう。